

平成 28 年度日本水産学会北海道-東北合同支部大会プログラム

日 程 平成 28 年 10 月 22 日（土）・23 日（日）

場 所 北海道大学大学院水産科学研究院（函館市港町 3-1-1）

プログラム

10 月 22 日（土）

13:00-15:30 一般研究発表

（A 会場：第 1 講義室；B 会場：第 3 講義室；C 会場：第 4 講義室）

15:45-16:45 若手の会講演会（C 会場：第 4 講義室）

16:45-17:45 北海道支部幹事会（A 会場：第 1 講義室）

東北支部幹事・支部連絡調整員合同会議

（B 会場または C 会場：第 3 または第 4 講義室）

18:00-19:30 会員交歓会（厚生会館 北海道大学水産学部生協食堂）

10 月 23 日（日）

9:00-11:30 一般研究発表

（A 会場：第 1 講義室；B 会場：第 3 講義室；C 会場：第 4 講義室）

12:00-13:00 北海道支部総会（C 会場：第 4 講義室）

13:00-13:30 北海道支部最優秀講演賞の授賞式（D 会場：大講義室）

13:30-16:30 シンポジウム（D 会場：大講義室）

大会受付

- ・大会会場（北海道大学大学院水産科学研究院 講義棟）1 階エントランスホール（10 月 22 日（土）12:00-17:45, 23 日（日）9:00-11:30）
- ・一般研究発表：発表 12 分，質疑応答 3 分（計 15 分）
- ・大会参加費： 1,000 円（講演要旨集代を含みます。ただし，学生参加者およびシンポジウム，若手の会企画講演会への参加は無料とします。）
- ・会員交歓会参加費： 3,000 円

一般研究発表プログラム

A会場（第1講義室）

A会場における北海道支部最優秀講演賞（☆）、北海道支部最優秀学生講演賞（★）、東北支部長賞（#）の選考対象演題は下記の通りです。

北海道支部最優秀講演賞（☆）：A-01 佐橋玄記

北海道支部最優秀学生講演賞（★）：A-05 森翔平，A-06 川浪拓磨，A-08 田雁竹，A-11 佐藤直登，
A-12 勝倉哲，A-13 Wenling Li，A-14 大内裕佳

東北支部長賞（#）：A-04 八谷三和，A-16 菅野俊太郎，A-18 難波拓真

10月22日（土）

座長：後藤友明（岩手大三陸水研セ）

☆A-01 13:00-13:15 **放流は本当に魚を増やすのか？：斜里川水系におけるサクラマスふ化放流事業の事例から**

○佐橋玄記（北大FSC）・森田健太郎（水産機構北水研）

A-02 13:15-13:30 **網走湖に棲息するシロザケ稚魚の食性—無給餌放流と給餌放流の比較—**

○永田光博・浅見大樹（網走水試）

A-03 13:30-13:45 **北海道えりも沿岸におけるサクラマス降海幼魚の胃内容物および胃内に観察された二生類（吸虫類）の寄生状況**

○浅見大樹（網走水試）・隼野寛史・真野修一（道さけます内水試道東センター）・永田光博（網走水試）

#A-04 13:45-14:00 **本州太平洋系サケ稚魚の成長・生残の水温応答**

○八谷三和・佐々木系・岡田義郎（水産機構東北水研）・加藤 毅（水産機構北水研）・渡邊伸昭（水産機構東北水研）・羽賀正人（水産機構日水研）・大本謙一（水産機構北水研）・藤浪祐一郎（水産機構西海水研）

座長：中野俊樹（東北大院農）

★A-05 14:00-14:15 **有機溶媒分画によるホタテウロ由来 EPA 高含有油脂の製造**

○森翔平・井上慎五（北大院水）・川浪拓磨（北大水）・福永健治（関大化生工）・吉岡武也（道工技セ）・高橋是太郎（北大院水）

★A-06 14:15-14:30 **ホタテガイウロ油脂の工業的生産の可能性**

○川浪拓磨（北大水）・森翔平・井上慎五（北大院水）・吉岡武也（道工技セ）・高橋是太郎（北大院水）

A-07 14:30-14:45 **イカミールからの高齢者向け機能性食品乳化剤の開発**

狩野栄詩（北大院水）・永尾寿浩（大阪市工研）・栗原秀幸（北大院水）・福永健治（関西大化生工）・○高橋是太郎（北大院水）

- ★A-08 14:45-15:00 n-3 ドコサペンタエン酸 (DPA) の代謝解析及び活性化マクロファージに対する炎症作用
○田雁竹・澤田有希・細川雅史・宮下和夫(北大院水)・Romanazzi Donato (Gawthron RI)

10月23日(日)

座長：落合芳博(東北大院農)

- ★A-11 9:00-9:15 紅藻ダルス由来フィコエリスリン摂取による老化促進モデルマウス SAMP10 の脳機能改善作用
○佐藤直登(北大院水)・足立亨介(高知大農)・安井 肇・岸村栄毅(北大院水)
- ★A-12 9:15-9:30 紅藻ウップルイノリ由来フィコビリタンパク質の ACE 阻害作用と一次構造特性との関係
○勝倉 哲(北大院水)・清水健志(道工技セ)・安井 肇・岸村栄毅(北大院水)
- ★A-13 9:30-9:45 Development and characterization of sandwich ELISA for detection of fish allergen Parvalbumin
○Wenling Li, Yutaka Shimizu, Hiroki Saeki (Faculty of Fisheries Sciences, Hokkaido University)
- ★A-14 9:45-10:00 海洋性カロテノイドのエネルギー代謝因子制御機構の解明
○大内裕佳・宮下和夫・細川雅史(北大院水)

座長：栗原秀幸(北大院水)

- A-15 10:00-10:15 活締めと野締め処理によるギンザケ肉質の比較
○鈴木英勝・柳瀬英太郎・荒井修武(石巻専修大理工)
- #A-16 10:15-10:30 魚骨脆弱化を及ぼす電磁波照射の影響について
○菅野俊太郎・山口敏康・中野俊樹・佐藤 実・落合芳博(東北大院農)
- A-17 10:30-10:45 化学物質がギンザケのストレス関連バイオマーカーに及ぼす影響について
○中野俊樹・長嶺慶美・山口敏康・落合芳博(東北大院農)
- #A-18 10:45-11:00 宮城県沿岸域底質に含まれる化学物質の分布と消長について
○難波拓真・関亜希・山口敏康・中野俊樹・金子健司・山内晶子・落合芳博(東北大院農)

B会場(第3講義室)

B 会場における北海道支部最優秀学生講演賞（★）、東北支部長賞（#）の選考対象演題は下記の通りです。

北海道支部最優秀学生講演賞（★）： B-03 折野和樹, B-04 今里翔真, B-06 梶原慧太郎,
B-12 宮崎 弘樹, B-15 小出凜太郎, B-16 閻乃箏,
B-17 富安信, B-18 松原直人, B-19 吉村美香

東北支部長賞（#）： B-02 杉浦大介, B-09 中山凱, B-11 鈴木はるか

10月22日（土）

座長：巢山 哲（水産機構東北水研）

B-01 13:00-13:15 函館周辺海域におけるイシガレイ稚魚の成長履歴と成育場環境

○佐藤義崇（北大院水）・中屋光裕（北大水）・浦杉朝子（株うおいち）・
藤田智哉・高津哲也（北大院水）

#B-02 13:15-13:30 陸奥湾産アサリの貝殻断面における透明帯形成周期について

杉浦大介（青森水総研）

★B-03 13:30-13:45 噴火湾におけるキタクシノハクモヒトデの腕骨輪紋の年齢形質としての有効性

○折野和樹・石金晃介・鈴木孝太（北大院水）・中屋光裕（北大水）・
高津哲也（北大院水）

座長：服部 努（水産機構東北水研）

★B-04 13:45-14:00 道東オホーツク沿岸域における植物プランクトンのサイズ別基礎生産力と種組成の季節変動

○今里翔真・塩本明弘（東京農業大学）

B-05 14:00-14:15 オウゴンムラソイ *Sebastes nudus* の初期形態発達様式

○石金晃介（北大院水）・中屋光裕（北大水）・鈴木孝太・高津哲也（北大院水）

★B-06 14:15-14:30 スケトウダラの卵サイズ選択的生残

○梶原慧太郎・鈴木孝太（北大院水）・鹿野陽太（東通村）・中屋光裕（北大水）
高津哲也（北大院水）

B-07 14:30-14:45 青森県周辺海域におけるキアンコウの食性と栄養状態

○竹谷裕平（青森水総研/北大院水）・高津哲也（北大院水）・中屋光裕（北大水）

座長：櫻井 泉（東海大生物）

B-08 14:45-15:00 魚の移動が海域別の魚の放射性 Cs 濃度を攪乱する影響について

○山田 学・水野拓治・早乙女忠弘・伊藤貴之・佐久間徹（福島水試）

#B-09 15:00-15:15 大地震と津波発生から 5 年間にわたる宮城県七北田川河口域における底生生物群集の時空間的変動

○中山 凱・近藤智彦・西谷豪・遠藤宜成・大越和加（東北大院農）

B-10 15:15-15:30 松島湾における養殖カキに対する付着汚損生物の除去

○伊藤博（宮城水技セ）・押野明夫（気仙沼水試）

10月23日（日）

座長：安間 洋樹（北大院水）

- #B-11 9:00- 9:15 **地盤沈下と護岸工事がアラメ群落とそれに関わる生物群集に与えた影響**
○鈴木はるか（東北大院農）・青木智也（シャトー海洋調査）・久保祐貴・
青木優和・遠藤 光・吾妻行雄（東北大院農）
- ★B-12 9:15- 9:30 **ガラモ場における葉上動物の個体数変動要因について**
○宮崎 弘樹（東海大院理工）・櫻井 泉（東海大生物）
- B-13 9:30- 9:45 **東北地方太平洋沖地震前後の宮城県大型定置網の漁獲物組成**
○片山知史・金戸悠梨子（東北大院農）

座長：中屋光裕（北大水）

- B-14 9:45-10:00 **米代川水系小様川に早期放流されたアユの釣れ具合**
○佐藤正人（秋水振セ）・坪井潤一（水産機構中央水研）
- ★B-15 10:00-10:15 **北海道東部海域におけるハダカイワシ科魚類の分布と生物量の経年変化**
○小出凜太郎（北大院水）・貞安一廣（水産機構開発セ）・船本鉄一郎・田中寛繁
（水産機構北水研）・大島慎也・木村暢夫・前川和義・安間洋樹（北大院水）
- ★B-16 10:15-10:30 **計量魚群探知機を用いた噴火湾周辺海域におけるソウハチガレイとスケトウダ
ラ稚魚の調査 - エコーグラムにおける特徴 -**
○閻乃箏・向井徹（北大院水）・山本潤（北大フィールド科セ）

座長：片山知史（東北大院農）

- ★B-17 10:30-10:45 **超音波テレメトリー手法を用いたニシン親魚の産卵回遊追跡**
○富安信（北大院環）・白川北斗（北大 FSC, JST, CREST）・飯野佑樹（北大水）・
宮下和士（北大 FSC, JST, CREST）
- ★B-18 10:45-11:00 **エゾメバル (*Sebastes taczanowskii*) の鳴音の音響特性、および鳴音受信頻度と
個体密度の関係**
○松原直人・坂本誠（北大院水）・片倉靖次（紋別市役所）・赤松友成
（水研セ中央）・高橋竜三工（水研セ水工研）・藤森康澄・木村 暢夫・
前川和義・安間 洋樹（北大院水）
- ★B-19 11:00-11:15 **タイ王国の水産資源管理政策**
○吉村美香・安間洋樹・木村暢夫（北大院水）・宮田 勉（水研セ中央水研）

C 会場（第4講義室）

C 会場における北海道支部最優秀講演賞（☆）、北海道支部最優秀学生講演賞（★）、東北支部長賞（#）の選考対象演題は下記の通りです。

北海道支部最優秀講演賞（☆）：C-12 萩原聖士

北海道支部最優秀学生講演賞（★）：C-07 小野寺理恵，C-11 島文華，C-13 兼安敬久，C-17 稲葉倫子

東北支部長賞（#）：C-05 高木聖実，C-06 猪股英里，C-15 安藤大樹，C-16 山本佑樹，

10月22日（土）

座長：泉ひかり（弘前大・食料科学研究所）

- C-01 13:00-13:15 **次世代シーケンサーを用いた遺伝子発現プロファイリングによるヒラメの体色異常に関与する遺伝子の解析**
國政実里・○横井勇人（東北大院農）・青海忠久（福井県大海洋生資）・鈴木徹（東北大院農）
- C-02 13:15-13:30 **アムールチョウザメの形態的未分化生殖腺における新規性分化関連遺伝子の探索**
○須山喜市・松原薫子・萩原聖士・石野魁盛・後藤直英・山本真也・井尻成保・足立伸次（北大院水）
- C-03 13:30-13:45 **GnRH 投与によるエゾメバル雌の性成熟促進**
○紫藤勇磨（北大院水）・川崎琢真（道栽水試）・莚平裕次・平松尚志・東藤孝（北大院水）

座長：浦 和寛（北大院水）

- C-04 13:45-14:00 **北海道日本海北部沿岸のエゾバフンウニの配偶子形成におよぼす水温の影響**
○合田浩朗（道総研釧路水試）・遠藤 光・吾妻行雄（東北大院農）
- #C-05 14:00-14:15 **冬季から春季のマコブ給餌によるキタムラサキウニ生殖巣の品質改善**
○高木聖実（東北大院農）・村田裕子（水産機構中央水研）・猪股英里・遠藤光・青木優和・吾妻行雄（東北大院農）
- #C-06 14:15-14:30 **キタムラサキウニ稚仔の成長に及ぼすエクストルーダで処理したスサビノリの食物としての効果**
○猪股英里・高木聖実・遠藤光・青木優和・吾妻行雄（東北大院農）

座長：尾定先生（東北大）

- ★C-07 14:30-14:45 **北海道寿都町沿岸におけるクボガイ *Chlorostoma lischkei* の生殖周期**
○小野寺理恵（東海大院理工）・櫻井泉（東海大生物）
- C-08 14:45-15:00 **バカガイの着底および飼育に適した砂の粒径に関する研究**
○川崎琢真・村上修（道栽水試）
- C-09 15:00-15:15 **岩手県沿岸ふ化場におけるサケ人工種苗生産の特徴**

後藤友明（岩手大三陸水研セ）

10月23日（日）

座長：池田 実（東北大フィールド研セ）

- ★C-11 9:00- 9:15 **温度処理による雄性発生半数体ニジマスの誘起**
○島文華・浅沼黎・兼安敬久（北大院水）・三坂尚行（道さけます内水試）・高橋英佑・山羽悦郎（北大フィールド科セ）・藤本貴史・荒井克俊（北大院水）
- ☆C-12 9:15- 9:30 **チョウザメ科種間雑種の発生/孵化および仔魚の生残における雑種強勢の可能性**
○萩原聖士・山中智樹・須山喜市・橋本富夫・井尻成保・足立伸次（北大院水）
- ★C-13 9:30- 9:45 **シロザケ×アメマス異質三倍体の生存性回復と淡水での飼育特性**
○兼安敬久・浅沼黎・島文華（北大院水）・高橋英佑・山羽悦郎（北大フィールド科セ）・藤本貴史・荒井克俊（北大院水）

座長：藤本貴史（北大院水）

- C-14 9:45-10:00 **クロガレイ *Pseudopleuronectes obscurus* とクロガシラガレイ *P. schrenki* との種間交雑の可能性**
○白井滋・高本悠・山本瑛也（東農大・アクア）
- #C-15 10:00-10:15 **天然魚を用いて生産されたヒラメ人工種苗の遺伝的多様性評価**
○安藤大樹・榎宗市郎（東北大フィールド研セ）・菅谷琢磨・片町太輔・小畑泰弘
（水研セ瀬戸内）・木島明博・池田 実（東北大フィールド研セ）
- #C-16 10:15-10:30 **マコガレイ集団におけるミトコンドリア DNA のハプロタイプ分類について**
○山本佑樹・池田 実（東北大フィールド研セ）・後藤友明（岩手大三陸水研セ）・高梨愛梨・横澤祐司（岩手水技セ）・木島明博（東北大フィールド研セ）

座長：白井滋（東農大・アクア）

- ★C-17 10:30-10:45 **北海道網走地方及び石川県能登島地方におけるクロードジョウの出現とその野生集団との遺伝的關係**
○稲葉倫子（北大院水）・石山尚樹（石川水総セ）・松原創（東京農大アクア）・藤本貴史・荒井克俊（北大院水）
- #C-18 10:45-11:00 **同一河川内に生息するヌマエビ2グループ間の遺伝的分岐**
○榎 宗市郎・池田 実（東北大フィールド研セ）
- #C-19 11:00-11:15 **「閉上赤貝」を含む仙台湾産アカガイと他地域産アカガイの遺伝的・形態的差異**
○佐藤仁・池田実・西峰千晴（東北大フィールド研セ）・西川正純（宮城大）・千葉郁雄（晃和工業）・鈴木貢治（宮城水技セ）・木島明博（東北大フィールド研セ）

平成 28 年度日本水産学会 北海道・東北合同支部大会 シンポジウム

「北海道・東北の水産を支える人材育成——産業・研究・教育・社会連携の視座から」

日時：平成 28 年 10 月 23 日（日曜日）13：30～16：30

場所：北海道大学函館キャンパス 講義棟 D 会場（大講義室）

企画責任者： 荒井克俊(北大院水)・安井 肇(北大院水)・秋山秀樹(東北水研)

シンポジウム開催の趣旨：東日本大震災より 5 年が経過し、関係者の努力により水産復興の兆しも見えてきた。漁場，漁港，漁船，水産加工・流通施設のインフラ整備は進みつつあるが，地域における現在と将来の水産を支える人材確保は容易ではない。本シンポジウムでは北海道・東北地域の水産人材をどのように育てていくべきか，漁業者，自治体，企業の要望のみならず，水産系課程をもつ大学，水産高校への期待についても話題提供をいただき，さらに，水産を応援してくれる地域社会とどのように連携していくかも考える機会としたい。

【プログラム】

13:30-13:35 開会の挨拶

安井 肇(北大院水)

13:35-13:40 シンポジウム趣旨説明

荒井克俊(北大院水)

座長 荒井克俊(北大院水)

13:40-14:00 S1. 地域の求める水産人材（北海道から）

中尾博己（函館国際水産・海洋都市推進機構）

14:00-14:20 S2. 東北地域の求める水産人材

關 哲夫（全水技協）

14:20-14:40 S3. 一教諭が経験した水産高校における人材育成の変遷

我妻雅夫（北海道函館水産高等学校）

14:40-14:45

休憩

座長 秋山秀樹（東北水研）

14:45-15:05 S4. 新たな岩手大学の水産人材育成

田中教幸(岩大・農 三陸水産研究センター)

15:05-15:25 S5. 震災後の女川フィールドセンター，そしてこれから

池田 実(東北大フィールド科セ)

座長 安井 肇 (北大院水)

15:25-15:45 S6. 北海道立総合研究機構水産研究本部における人材育成

夏目雅史 (道中央水試)

15:45-16:05 S7. 福島県における水産研究職員人材育成の取り組み

山廻邊昭文 (福島水試)

16:05-16:10

休憩

16:10-16:30

総合討論

16:30

閉会の挨拶

秋山秀樹 (東北水研)

平成 28 年度日本水産学会北海道・東北支部合同大会若手の会講演会

「クロマグロの資源管理と漁業者・加工業者が生き残る道」

日時：平成 28 年 10 月 22 日(土) 16:45～17:45

場所：北海道大学水産学部 講義棟 C 会場（第 4 講義室）

企画責任者：高橋 潤（東京農大生物産業）、竹谷裕平（青森水総研）

企画の趣旨：講師は、2009 年 3 月に東京海洋大学大学院を修了、同年 4 月に青森県庁に入庁。2014 年 3 月に青森県庁を退職し、同年 4 月に現職へ転身した。

あおもり海山では、県内トップの漁獲量を誇る深浦町産のクロマグロを対象に、母体会社(株)ホリエイが操業する定置網において血抜きや内臓除去、神経抜き等の船上処理や冷凍試験、未利用部位の加工品開発、販路開拓をはじめ、ご当地グルメ「深浦マグステ井」の原料供給支援等の地域振興に取り組んでいる。

一方、太平洋クロマグロは親魚資源が歴史的最低水準にあることから、我が国では中西部太平洋まぐろ類委員会の国際合意に基づき、体重 30kg 未満の小型魚の漁獲量を従来約半分に制限する措置が 2015 年月から導入された。

しかし、深浦町におけるクロマグロ漁業の主たる漁法は定置網であり、来遊する魚群の入網を待って漁獲する典型的な受動漁具であるため、種やサイズを選択することが困難であり、本種小型魚の漁獲量が先の規制上限に達すれば操業そのものを停止せざるを得ない。

講師は、クロマグロ資源の保全はもとより、定置網漁業の操業を維持するために、海洋大や青森水総研、水産機構水工研と連携して、定置網に入網したクロマグロ小型魚を健全な状態で網外へ放流する技術の開発に取り組んでいる。

本講演では、講師によるクロマグロ資源保全や販路拡大の取り組み、漁業者・加工業者として漁獲規制等の社会情勢を受けた今後のビジョン、さらには水産学研究に期待すること等について御講演頂く。

【プログラム】

16:45-16:48 開会の挨拶・趣旨説明 竹谷裕平（青森水総研）

座長 竹谷裕平（青森水総研）

16:48-17:43 「クロマグロの資源管理と漁業者・加工業者が生き残る道」
野呂英樹（(株)ホリエイ・(株)あおもり海山）

17:43-17:45 閉会の挨拶 高橋 潤（東京農大生物産業）

口頭発表要領

- 1) 口頭発表における資料の提示は、パワーポイントファイルを PC 用液晶プロジェクターで投影することにより行います。PC ソフトのバージョンはパワーポイント 2013 で、OS は Windows 8.1 です。

一般口頭発表時間 15 分：講演 12 分，討論 3 分

10分経過時に予鈴1回，12分で本鈴2回鳴ります。以降，1分経過ごとに警告鈴が3回鳴ります。

※パワーポイントのPC操作は、発表者ご自身で行ってください。

- 2) スライドはマイクロソフトパワーポイントで作成してください。予め Windows 8.1，パワーポイント 2013 での動作確認をお願い致します。
- 3) パワーポイントファイルを入れた USB メモリーを各自会場にご持参ください。パワーポイントのファイル名は各自の講演番号(半角数字 後日、支部ホームページに掲載) (例：A01 あるいは C15)として下さい。USB メモリーについては、各自で必ずウイルスチェックを行ってからご持参下さい。
- 4) 発表用パワーポイントファイルは各会場の PC にダウンロードさせていただきます。一般発表開始前、空き時間等にファイルを会場の PC にコピーして下さい。会場系の指示に従って PC へのコピーをお願い致します。

※なお、発表ファイルは、講演終了後に速やかに破棄します。

- 5) 発表者自身の PC を使用する場合は、予め会場係に申し出てください。また、Mac を使用する発表者は、プロジェクターに接続用の機器をご持参下さい。